

IR ニュース



福山大学
FUKUYAMA UNIVERSITY

2021 年 7 月 <第 10 号>

福山大学流の教学 IR の確立を目指して

福山大学 IR 室は 2018 年 4 月の発足以来、初代 IR 室長の平 伸二教授(人間文化学部心理学科)のリーダーシップの下で、IR 活動に取り組んできました。2018 年にはキャビネット Karin が導入されました。2019 年 7 月には大学運営に関する収集すべきデータを福山大学 IR 指標としてまとめ、全学のデータ収集を開始しています。本学教職員の IR への関心を高め、理解を深めるために、定期的に IR ニュースを発行し、IRer 養成講座を開催してきました。2021 年 4 月に平 伸二室長から山本 覚教授(生命工学部生物工学科)に IR 室長が引き継がれました。IR 室長の交代にあたり、福山大学における IR 活動の目的を確認したいと思います。

IR (Institutional Research) は、大学の自己点検・評価活動や意思決定に活用し、大学運営を効率的に行うため、大学に関する様々な情報の収集を行い、それを整理・分析する活動です。IR という用語はまだ広く普及しているとは言い難く、一般的に IR といえば Investor Relations を示すことが多いので、ここでは教学 IR と表現します。今から 13 年前の中教審答申「学士課程教育の構築に向けて(2008 年)」では、大学職員の質を高め、大学の諸活動に関する調査データを収集・分析し、経営を支援する必要性を論じています。さらに、3 年前の中教審答申「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン(2018 年)」では、教育の質の保証等のための具体的方策の参考例として、「教学 IR 体制の確立」をあげています。文部科学省は、高等教育機関の教育・研究活動のベクトルを省令により指示するのではなく、政策誘導により目指すべき方向に導くようになりました。また、第 3 サイクルを迎えている大学機関別認証評価においても「教学 IR などを活用した十分な調査・データの収集と分析」が評価の視点に加えられています。教学 IR が大学教育の質保証に必須の要素となることは間違いありません。とは言え、教学 IR については米国での研究例や実践例が紹介されている段階であり、わが国の教育制度や社会制度に相応しい教学 IR をこれから構築していく必要があります。

福山大学における教学 IR 活動の目的に話を戻しましょう。本学では、大学機関別認証評価に際して評価機関に提出する自己点検・評価書作成に必要な大学運営に関するデータの一元的管理が求められました。自己点検・評価書を作成する上で、根拠資料の収集に多大な労力を要するからです。また、授業評価アンケート、卒業生アンケート、卒業生の採用企業へのアンケート、教養教育アンケート、学生生活アンケートなど、多様な意見の収集・分析を行っていますが、これらを更なる教育改善につなげる必要があります。また、効果的な学生募集活動にも教学 IR の支援は有効であると推定されます。これらは、学生の入学前から在学中を経て、卒業後に至るまで、本学における教育の質保証に深くかかわることばかりです。これがエンrollment・マネジメントです。IR 室はこれまでも、エンrollment・マネジメントに係るデータ収集を積極的に行ってきました。今後もそのシステム改善に努め、データウェアハウジングに取り組む必要があるでしょう。加えて、因子分析や傾向分析と今後の予測などを統計的に扱うスキルアップが必要です。福山大学の長所と短所、

強い点と弱い点などについてベンチマーキングの技法を確立したいと考えています。福山大学流の教学 IR を確立して、本学の教育の質保証に IR 室が役立つことを目的としたいと思います。

IR 室長 山本 寛

教学 IR に関する学会・研究会組織の紹介

教学 IR には、学内外の様々なデータを収集・集約・分析し、大学運営のために情報を提供する使命があります。高等教育に関する情報収集、また他大学との比較を行うために、場合によっては他の大学とデータや情報を交換することが求められます。しかし何らかの合意や約束に基づいた組織的な活動なしには、学外に公開することが難しい重要なデータや大学運営に関する情報を交換することはできません。

教学 IR に関する大学間の情報交換を行う組織が IR コンソーシアムです。この項では代表的なコンソーシアムを 2 つ紹介いたします。大学 IR コンソーシアムと大学評価コンソーシアムです。

◎大学 IR コンソーシアム

大学 IR コンソーシアムは、2009 年度文部科学省戦略的大学連携支援事業に同志社大学・北海道大学・大阪府立大学・甲南大学の 4 大学が連携して取り組んだ活動が発端となり、2012 年に発足、2018 年には一般社団法人となり、全国の国公私立 59 大学が加盟(国立 8 大学、公立 7 大学、私立 44 大学; 2021(令和 3)年 5 月 19 日現在)しているコンソーシアムです。参加は大学単位で年会費が必要です。

大学 IR コンソーシアムの特長は、加盟大学間で行われる共通の学生調査と独自のデータベースシステムです。

大学 IR コンソーシアム Web ページ(<https://irnw.jp/investigate>)に、この学生調査は「学生の学習行動や学習時間、能力に関する自己評価、満足度を中心とした調査項目が含まれており、学生自身が大学での学びをどのように受けとめて、どのように評価しているのかを調べます。(略) 学生調査の結果をコンソーシアム会員校全体と比較することで、各大学の特徴を見出すことができます。」と説明されています。学生調査の結果は大学 IR コンソーシアムが運営するデータベースシステムにより管理されます。

共通の学生調査実施とデータベースシステムを通じて加盟大学間で調査データを共有し、各大学の教学 IR 活動に活用されています。

◎大学評価コンソーシアム

大学評価コンソーシアムは、大学評価に関する情報交換や議論の場を提供するため、2007 年度から九州大学を中心に企画運営された大学評価担当者集会在が起点となり、2010 年に組織されました。現在は 384 機関 1,279 名の会員が参加しています(2021 年 7 月 4 日現在)。参加は個人単位で会費は無料です。

大学評価コンソーシアムの特長は、大学評価・教学 IR 担当者に対して開かれた情報交換や議論の場を継続して運営していることです。

大学評価コンソーシアムは、大学評価の質の向上(的確な評価データの分析、評価コストの削減など)、各大学における大学経営の質の向上(PDCAサイクルの実現など)、評価制度に関する政策提言等の情報発信の充実および上記の目標の実現を目指した取組を通じて、我が国の大学における大学経営、ひいては、教育研究の発展への寄与(大学評価コンソーシアム Web サイト(<http://iir.ibaraki.ac.jp/jcache/index.php>)より抜粋)を目標として掲げ、大学評価担当者集會や研修会を運営しています。

2017 年からは大学評価・教学 IR 担当者集會に名称が改められ、教学 IR 担当者に対応したセッションも開

催されています。また教学 IR 担当者に向けた IR 実務担当者連絡会も開催されており、大学間の情報交換だけでなく、教学 IR 担当者の能力向上に働きかける取り組みも行われています。 記谷(記)

キャビネット Karin の利用状況

教職員の皆様におかれましては、日々、Karin をご利用いただきありがとうございます。さて、令和 3 年 5 月 18 日までの Karin の利用状況(累計:日常業務フォルダへのファイルのアップ状況)が多い部署を報告します(図1参照)。

2021 年 5 月 18 日付

部署(大項目)	部署(内訳)	数
事務局 (上位 3 件)	学生課	12,588
	国際交流課	7,457
	その他	2,377
教 学 組 織 (上位 6 件)	心理学科	15,382
	心理臨床学専攻(修士課程)	389
	人間文化学部教授会	339
	スマートシステム学科	274
	IR 室	227
	薬学部教授会	123
委 員 会 (上位 10 件)	国際センター運営委員会	1,867
	研究科長等協議会	186
	共同利用センター運営委員会	135
	福山大学資格取得支援センター運営委員会	131
	ワークライフ支援室(男女共同参画推進室)	99
	教務委員会	98
	全学自己点検評価委員会自己点検評価実施小委員会	75
	大学教育センター運営委員会	63
	長期ビジョン委員会第六部会(学部・学科等再編・新設検討部会)	53
	全学自己点検評価委員会	50
学長室	専任教員における 2017 年度実績および 2018 年度実施目標	180
	専任教員における 2019 年度実績および 2020 年度実施目標	179
	専任教員における 2020 年度実績および 2021 年度実施目標	171

図1. キャビネット Karin 日常業務 ファイルアップロード状況

Karin 活用

キャビネット Karin を積極的に活用されている部署は、図1に示した通りですが、まだ、十分に活用して頂いていない部署も散見されます。ご利用いただくために、下記の期間を「Karin 利用強化期間」といたします。

期間:8 月 1 日(日)～9 月 20 日(月)

やっていただきたいこと

1. 会議議事録およびその関連ファイルのフォルダの作成とファイルのアップロード
2. 部署フォルダ内の整理整頓(年度ごとに整理)
「年度」毎に、「行事」単位での「最終資料」、「中間資料」フォルダの作成及び、データのアップロードとフォルダ内の整理

なお、Karin の利用方法については IR 室(irwg@fukuyama-u.ac.jp)までご連絡ください。

Karin のフォルダ参照方法

Karin へは、以下より、アクセスいただけます。(学内限定、認証あり)

URL:<https://cabinet-karin.fukuyama-u.ac.jp/>

または、

【福山大学 HP】→【サイトマップ】→【本学教職員向け】欄より、アクセスできます。

注)【サイトマップ】は、【福山大学 HP】のページ下部にリンクより、ご利用いただけます。

以上、よろしくお願いします。

IR 室行事のお知らせ

講習会 2021 年度予定(各回とも、60 分～90 分程度)

対象:各学科より 1 名の参加をお願いする予定

第 1 回 9 月 17 日(金)「大学の質保証に向けての教学 IR 活動」

第 2 回 12 月初旬「入試の種類と学修成果の相関解析①」

第 3 回 2 月末日「入試の種類と学修成果の相関解析②」

編集後記

令和 3 年度より、IR 室は、新しい室長を迎えて活動を行っていくことになりました。

昨年までは、IR ニュースを季刊として発行していましたが、今年度からは、年 2 回の発行に変更しました。IR ニュースの発行回数は減りますが、IR 室の活動をきちんとお伝えしていきます。

さて、8 月 1 日～9 月 20 日にかけて、すこしでもキャビネット Karin を身近に感じていただけるように、「Karin 利用強化期間」といたしました。秋には、IR の講習会の開催を予定しています。IR 室の活動にご協力ください。よろしくお願いします。

片桐(記)

IR ニュース <第 10 号>
2021 年 7 月末日発行

編集 IR 室
編集委員 山本 覚
片桐 重和
記谷 康之

ご意見・ご要望がございましたら
下記までご連絡ください。

Email : irwg@fukuyama-u.ac.jp